

# 平成 3 1 年度使用教科用図書 【中学校道徳】

- 1 全ての教科用図書に関する  
調査研究報告 (⑥)
- 2 各学校からの報告をとりまとめた  
調査研究報告 (⑤)

## 道 徳 8 種

発行者の番号略称	書 名
2 東書	新しい道徳
1 1 学図	輝け 未来 中学校道徳
1 7 教出	中学道徳 とびだそう未来へ
3 8 光村	中学道徳 きみがいちばんひかるとき
1 1 6 日文	中学道徳 あすを生きる
2 2 4 学研	中学生の道徳 明日への扉
2 3 2 廣あかつき	中学生の道徳 自分を見つめる 自分を考える 自分をのばす
2 3 3 日科	道徳 中学校 生き方から学ぶ 生き方をみつめる 生き方を創造する

# 調査研究報告書 ⑥

## 道徳

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい道徳1 新しい道徳2 新しい道徳3	中学校学習指導要領 特別の教科 道徳編に示された内容項目については、各学年において全てを取りあげている。 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる配慮をしている。	【考え、議論する道徳に関すること】 教材を通してどのようなことについて考えるのかを教材の冒頭に示している。各教材末尾に、「考えてみよう！」があり、中心発問と、自己を見つめる設問を示している。話し合い活動や思考の質を高めるために、ホワイトボード用紙などの授業支援ツールを用意している。 【発達の段階に関すること】 重点項目の設定において、1年は郷土の学習、2年は国の学習、3年は国際理解の学習をそれぞれ重点項目にするなど、段階を経て考える範囲が広がるように配慮している。 【いじめ防止に関すること】 1つのテーマで3つの教材を組み合わせてユニットをつくることでいじめの問題を多面的・多角的に見られるようにしている。 【現代的な課題に関すること】 生命尊重、人権、福祉、自然・環境、伝統・文化、先人の伝記、安全・防災、国際理解、食育、キャリア教育、情報モラル、福祉・医療、消費者教育、法教育、持続可能な開発についての課題を掲載している。 【言語活動に関すること】 各学年の巻頭に「話し合いの手引き」を配置し、話し合い活動を促すようにしている。教材末の設問ごとに書き込み欄を設置し、自分の考えたことや友達の考えなどを書き込めるようにしている。 【家庭や地域との連携に関すること】 読書で広げる道徳のページは、家庭での話し合いのきっかけにすることもできる。家族や地域社会を扱った教材を配置している。 【かわさき教育プランに関連すること】 道徳の内容の視点B、Cの教材が多く、共生・協働の精神を育みやすいと思われる。内容項目A-(1)の教材によって、自主・自立についても育むことができる。	【学習の進め方に関すること】 巻頭に「道徳の授業はこんな時間に」があり、ショートストーリーを読んだ、道徳の授業の流れを体験できるようになっている。 同じく巻頭に「話し合いの手引き」があり、話し合いの順序やルールを具体的に示している。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 「いじめ問題」と「生命尊重」は、複数教材を組み合わせたユニット構成をして重点的に扱っている。 全22の内容項目はすべて扱われており、設定された13の重点項目については繰り返し学習できるよう配慮されている。 【教材の分量に関すること】 本編で35時間分の教材を用意し、付録で5教材が用意されている。また読み物だけでなく、様々な教材が掲載されている。 【各教科等との関連に関すること】 教材の冒頭で各教科との関連を示したり、巻末にテーマごとに教材を分類したりして、各教科等との関連が図れるようにしている。 【記入や記録に関すること】 各教材中に「つぶやき」というメモ欄が挿入され、その時々を生徒の心の動きを記入できるようにしている。 巻末に切り取り式の自己評価用紙がある。学期ごとに生徒が自己評価を行い、提出できるようになっている。 【判型に関すること】 AB判。軽量の用紙を使用することで、重量的な負担は軽減されている。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを採用している。漢字に読み仮名がふられているものもあり、内容理解の手助けになる。 【挿絵や写真に関すること】 感動・畏敬の念を扱う教材については、写真を大きく掲載し、大自然の迫力が伝わるよう工夫されている。 【内容項目や主題の示し方】 各教材の冒頭には、道徳の内容の4つの視点のマークと考えるテーマを示している。 【読みやすさ】 中学生にとって難しい表現は避けて、なるべくわかりやすい表現を用いるようにしている。漫画教材を取りあげ、親しみやすくするために口語体で表現している。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 色覚特性の専門家の協力を得て、全ページにわたって配色や色に関わる表現を点検している。 【マークやキャラクターに関すること】 4つの視点各教材の冒頭右上、各教科との関連が各教材の冒頭右下にマークで示されている。生徒二人と先生、案内役のキャラクターを要所に配置し、学習の流れを案内するとともに、興味・関心を引き出す工夫がされている。 【神奈川県に関連すること】 3年の「郷土のことを考える」では、相模人形芝居が取りあげられている。
11 学図	輝け 未来 中学校道徳 1年 輝け 未来 中学校道徳 2年 輝け 未来 中学校道徳 3年	中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編に示された目標に則り、全ての内容項目の指導に最適な題材を用意している。 中学校学習指導要領解説 総則編に示された、「指導内容の重点化への配慮」を受けて、重点化を図る内容項目については複数教材を配置している。	【考え、議論する道徳に関すること】 各教材の末尾に「学びに向かうために」という項目を記載し、発問を掲載している。特に考え議論する場面には「意見交換」と明示している。自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、体験的な学習の要素を取り入れ、学習展開を設定している。 【発達の段階に関すること】 中学生の発達段階を考慮し、学年を追って発問内容や「心の扉」の記載内容を深化させていく配慮をしている。 【いじめ防止に関すること】 いじめの問題を扱う教材については、直接考える教材、いじめにつながる可能性がある内容を取りあげた間接的な教材を設けている。 【現代的な課題に関すること】 情報モラル、防災教育、国際理解、主権者教育、キャリア教育、伝統文化、生命尊重、持続可能な発展を掲載している。 【言語活動に関すること】 資料末尾の「学びに向かうために」の中で、意見交換のポイントが挙げられ、言語活動充実への配慮がなされている。学びの記録の欄を設け、自分の考えや友達の考えを記入できるようにしている。 【家庭や地域との連携に関すること】 巻末に保護者に向けて、本教科書が目指すことを説明し、どのような内容を学習するかを示している。また、「学びの記録」のページにより、生徒の学習の振り返りが保護者にも伝わるよう配慮がなされている。 【かわさき教育プランに関連すること】 内容項目の他に深く考えていきたい重要な現代的課題を10示しているが、その中の3つ「共に生きる」「社会の中で」「社会を生きぬく」はかわさき教育プランの理念と関連している。	【学習の進め方に関すること】 教科書冒頭の「道徳の学習を始めよう！」で学習に向かうための手立てが記載されている。 全教材に「学びに向かうために」があり、どのような考えをノートにまとめればよいか示されている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 「中学校学習指導要領解説 総則編」に示された指導内容の重点化に掲げられた内容について、複数の教材を取りあげている。 【教材の分量に関すること】 年間35時間分の教材が用意されている。 読み物だけでなく、様々な資料が掲載されている。 【各教科等との関連に関すること】 各教科の学習や、学校生活における部活動や行事と関連付けながら、その中にある道徳的価値について考えることができる教材を設置している。 【記入や記録に関すること】 「心の扉」のページでは、内容項目に関わる振り返りを記入する欄が設けられている。 夏休み、冬休みを境として3つの期間を区切り、それぞれの教材での学習後の書き込みをするページがある。 巻末に一年間の振り返りを記入ページがある。 【判型に関すること】 AB判の横に広いサイズで、文字や絵などが視認しやすいように工夫されている。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 ユニバーサルデザインフォントを使い、認識性に対する配慮をしている。 読み仮名が振られている漢字もある。 【挿絵や写真に関すること】 大きめの挿絵や写真が多く、教材ごとにその情景をイメージしやすくなるように工夫されている。 【内容項目や主題の示し方】 教材の冒頭に内容項目が示されている。道徳の内容の視点ごとにページが色分けされている。 教材のねらいが題名の横に示されている。 【読みやすさ】 右ページから始まり、見開きページに挿絵や写真が配置され、読みやすくなるよう配慮されている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 カラーユニバーサルデザインの観点から、色使いやマーク類などの用い方に配慮している。 【マークやキャラクターに関すること】 現代的課題などを10のポイントマークで示している。 各教材の冒頭にこのマークを示している。 内容項目を4つのマークで示し、各教材の冒頭にそのマークを提示している。 【神奈川県に関連すること】 1年生では、「生き続ける遺産 深良用水」の教材の中で、富士山の話と関わって芦ノ湖が扱われている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学道徳1 とびだそう 未来へ 中学道徳2 とびだそう 未来へ 中学道徳3 とびだそう 未来へ	各教材は、学習指導要領の4つの視点のどこに該当するかを、色で区別して表現されている。22の内容項目はすべて取り扱われている。 道徳教育の要となる道徳科として、学校行事や体験活動等との連携を図りやすいような教材の配列をしている。	【考え、議論する道徳に関すること】 何をどのように考え話し合っていくのかが分かるよう、各教材最終ページに「学びの道しるべ」として発問が記載されている。問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など、多様な学習方法を取り入れられる教材を掲載している。 【発達の段階に関すること】 生徒にとって身近な設定の教材を、学年に応じて変化をつけながら、3学年通してシリーズで掲載している。1年生では自分自身に関することの教材を手厚く扱い、学年があがるにつれて人との関わり、集団や社会との関わりの教材に力点を置いている。 【いじめ防止に関すること】 いじめについて直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を設けている。いじめを直接扱っている教材は、特定の指導時期に集中しないように配置している。 【現代的な課題に関すること】 情報モラル、生命尊重、キャリア教育、伝統と文化、国際理解、防災教育、持続可能な発展を掲載している。 【言語活動に関すること】 各教材の最後に「学びの道しるべ」があり、自分の考えを基に話し合う問いが設けられている。 巻末の「道徳の学びを記録しよう」などの書き込み欄が設けられていて、自分の考えを書くことができるようになっている。 【家庭や地域との連携に関すること】 巻末の「どんな〇年生になりたいか」「そして、未来へ」のページには、保護者記入欄を設け家庭との連携を図ることができるようにしている。 【かわさき教育プランに関連すること】 夢や目標を見つけることを促しており、基本理念「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」につながる。	【学習の進め方に関すること】 教材の最初に示されている発問を活用して導入を行い、次に教材を読み、その後で教材の最後に示されている「学びの道しるべ」に示されている発問を活用して授業を進めるようにつくられている。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 重点化している内容項目については、複数の教材を掲載し、繰り返して学習できるようにしている。 【教材の分量に関すること】 1教材1時間での扱いができるように、各学年に35教材が掲載されている。35の教材は、30教材と5つの補助教材で構成されている。 【各教科等との関連に関すること】 各教科、特別活動などとの連携がはかりやすい教材の配列をしている。 【記入や記録に関すること】 巻末には、学期ごとに学びを振り返り、記録する『道徳の学びを記録しよう』がある。学習を通してもった実感を星の教で示す「心のかがやき度」の欄がある。課題や目標を記入するページ『どんな〇年生になりたいか』『そして、未来へ……』が設けられている。 【判型に関すること】 B5判を採用し、教材の内容を精選し全体のページ数を抑えたり、軽量で丈夫な用紙を採用することで重量を軽くしている。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 1年生の前半は文字を大きくし、読みやすくしている。明朝体に改良を加えた読みやすいものが使用されている。漢字は、全ての教材で、初出箇所には振り仮名が付けられている。 【挿絵や写真に関すること】 教材内容の理解を助けるために、生徒のイメージを広げる絵や写真を配置している。 【内容項目や主題の示し方】 教材の冒頭に視点が分かるように色別で示している。 【読みやすさ】 漫画や絵本を用いた教材、グラフや地図、写真から考える教材など、「読む」ことの負担を減らし、全員が話し合いに参加できる授業ができるようにしている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 カラーユニバーサルデザインの専門機関の審査を受け、認証マークを取得している。特別支援教育の専門家の校閲を受けたことを明記している。 【マークやキャラクターに関すること】 発問を示している部分は、同じマークで表されている。 【神奈川県に関連すること】 巻末の「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」には、1年で二宮尊徳、2年で小柴昌俊、3年で吉川英治が取りあげられている。2年の「復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～」では、関東大震災の横浜の被害があげられている。
38 光村	中学校道徳1 きみが いちばん ひかるとき 中学校道徳2 きみが いちばん ひかるとき 中学校道徳3 きみが いちばん ひかるとき	各学年とも年間を4つのまとりに分けている。4つのまとりに、学習指導要領に示されたA～Dの4つの視点が、発達の段階を踏まえ、配置されている。 学習指導要領に示された22の内容項目は、それぞれの学年において網羅されている。	【考え、議論する道徳に関すること】 各教材の最終ページに「学びのテーマ」があり、教材を通して何を学ぶのかをという「めあて」を示している。また、「考える観点」では、「学びのテーマ」に迫るために、3つの考える観点となる発問を設定している。 【発達の段階に関すること】 各学年の生徒の発達段階や特性を考慮し、それぞれの学年にふさわしい教材選定となっている。教材は、発達段階や授業時間を考慮したページ数としている。 【いじめ防止に関すること】 全学年を通して、さまざまな内容項目から「いじめ問題」の解決に結びつく教材とコラムが設定されており、「いじめ」をしない、させない、見過ごさない力が系統的に育成されるようにしている。 【現代的な課題に関すること】 情報モラル、法教育、健康教育、伝統文化、福祉に関する教育、キャリア教育、国際理解教育、社会参画、食育、防災教育、環境教育を掲載している。 【言語活動に関すること】 どの教材にも「私の気づき」という書く場面、話し合うテーマとなる「考える観点」が示されている。 書く活動、話す・聞く活動を重視した教材を収録している。 【家庭や地域との連携に関すること】 家族について描かれた教材から、自分と家族について考えが深められるようになっている。生徒が家庭での話し合いにつなげられるコラムも設けられている。 【かわさき教育プランに関連すること】 教材を4シーズンに区切っているが、シーズン1「自ら考えて」は基本目標「自主・自立」に、シーズン2「仲間とよりよい生活を送るために」は基本目標「共生・協働」につながっている。	【学習の進め方に関すること】 教科書の冒頭には、「本書で学ぶ皆さんへ」のページがあり、教材を通して考えを深めるための学びの構成を示している。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 全ての学年に「生命の尊さ」をテーマとした教材が3つずつ位置付けられている。同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達段階に合わせて、内容や分量、世界の広がりなど、学年ごとに傾斜をつけた配当となっている。 【教材の分量に関すること】 1時間での扱いが可能な33教材と、複数時間で扱う想定1教材、補充教材としての2教材の36教材が配されている。 【各教科等との関連に関すること】 教材末のてびきには、「つなげよう」が設けられており、他教科で学習する内容との関連、特別活動との関連、関連する内容の図書の紹介などが示されている。 【記入や記録に関すること】 各教材の最終ページに「私の気づき」という自分の考えについて記入する欄が設けられている。 生徒が自分の変化や成長を振り返ることができる「学びの記録」が巻末にある。 【判型に関すること】 B5判で、軽くて裏写りにくい用紙を採用している。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 中学校以上配当の常用漢字について全て振り仮名がある。固有名詞は教材初出箇所には振り仮名を付けている。教科書のためにデザインされた光村明朝体を用いている。 【挿絵や写真に関すること】 教材内容の理解を助け、イメージを広げる絵や写真が配置されている。説明内容を解説するための写真や図・グラフを付けている。 【内容項目や主題の示し方】 1年を4つのシーズンに分けたそれぞれのシーズンの色と道徳の内容の視点、内容項目を各教材の冒頭に示している。 【読みやすさ】 読みやすさを考慮して、熟語の混ぜ書きを極力避けている。読み物教材の他にも、視覚的に興味・関心を喚起する漫画形式などの教材が位置付けられている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の専門家の校閲を受けたことを明記している。 【マークやキャラクターに関すること】 道徳の内容の視点を示す4つのマークがある。 【神奈川県に関連すること】 1年の「栄光の架橋」で横浜市出身のフォークデュオ「ゆず」が取りあげられている。1年の日本の郷土玩具紹介ページで箱根寄木細工が紹介されている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日 文	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3道徳ノート	学習指導要領に示された道徳科の目標の実現を目指し、指導すべき事項として示された内容項目はすべて扱い、さらに重点事項や配慮・留意事項を重視している。 巻頭には、学習指導要領に示されている4つの視点とそれぞれに含まれる内容項目が示されている。	<b>【考え、議論する道徳に関すること】</b> 教材の最後のページには、ねらいに迫るための発問例と前向きに自分に生かすための発問例が掲載されている。道徳ノートにも同じ発問が掲載されており、その発問に対する考えを記入する欄がある。 <b>【問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材には、参考例として「学習の進め方」を設け、授業の展開をイメージできるようにしている。】</b> <b>【発達段階に関すること】</b> 中学校3年間の発達段階を考慮し、各学年にテーマを設定している。各学年のテーマは、1年は「新しい自分とてあう」、2年は「人との関係を見つめる」、3年は「よりよい人生をひらく」である。 <b>【いじめ防止に関すること】</b> いじめの問題を集中的に考えられるようにユニット化を図っている。いじめを直接題材として扱っている教材と間接的にいじめ防止の心を育てる教材を用意している。 <b>【現代的な課題に関すること】</b> 情報モラル、生命倫理、持続可能な発展、食育、防災教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育、社会参画を掲載している。 <b>【言語活動に関すること】</b> ペアトークやグループトークの学習形態を示しているページがある。道徳ノートでは、自分の考えや他者から学んだ内容を記入する欄がある。 <b>【家庭や地域との連携に関すること】</b> 別冊ノート巻末には学期ごとに道徳で学んだことを記入する欄があり、保護者が記入する欄も設けている。巻末に「先生、保護者の方へ」の欄がある。 <b>【かわさき教育プランに関連すること】</b> 編修の基本方針の1つに「主体的な学び」がある。これは、かわさき教育プランの基本目標の「自主・自立」につながる。	<b>【学習の進め方に関すること】</b> 巻頭には「道徳科の学び方」のページがあり、「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の順で学習を進めることが示されている。 <b>【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】</b> 全学年に共通した重点項目を設定して、重点項目には複数の教材を設定している。 <b>【教材の分量に関すること】</b> 各学年とも35の教材があり、学習した内容を理解したり広げたりするコラムがある。 <b>【各教科等との関連に関すること】</b> 巻末の内容項目別教材一覧に教科等との関連を示している。 <b>【記入や記録に関すること】</b> 別冊の道徳ノートがある。教材一つに対して道徳ノート1ページが割り当てられており、年間を通して記録を残すことができる。教科書の流れと同じように記入できるようになっている。 <b>【判型に関すること】</b> B5判で、通常の上質紙よりも軽くて裏写りの少ない用紙を使用している。	<b>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</b> 中学校で学ぶ漢字やキーワード、固有名詞には、すべて振り仮名をつけている。 書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 <b>【挿絵や写真に関すること】</b> 学習に取り組む生徒の姿を写真資料として掲載し、学習意欲を喚起しようとしている。 <b>【内容項目や主題の示し方】</b> 教材の冒頭に道徳の内容の視点のマークと主題名が示されている。 <b>【読みやすさ】</b> 脚注欄、側注欄を活用して、教材の読み取りに必要な補足説明がされている。 <b>【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】</b> カラーユニバーサルデザインの観点から、国立特別支援教育総合研究所客員研究員による校閲のもとに作成されている。 <b>【マークやキャラクターに関すること】</b> 4人の中学生のキャラクターを設定している。道徳の内容の視点をマークで示している。 <b>【神奈川県に関連すること】</b> 2年のコラム「環境保全と持続可能な社会」では、小田原市が取りあげられている。 3年の教材「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」では江の島が取りあげられている。
224 学 研	中学生の道徳 明日への扉 1年 中学生の道徳 明日への扉 2年 中学生の道徳 明日への扉 3年	学習指導要領の内容を漏れなく扱い、目標を達成できるように、各学年で教材を適切に構成している。 学年ごとに、生徒の発達的特質に応じたテーマを設け、該当項目に複数教材を用意するなど、工夫している。	<b>【考え、議論する道徳に関すること】</b> 教材本文より前に主題名を表示しないことで生徒が自ら問題意識をもてるようにしている。教材の最後のページには、問いの例を示している。各教材とあわせて「深めよう」「クローズアップ」のページを設定し、学習した内容から、さらに生徒の考えを深めようとしている。 <b>【発達段階に関すること】</b> 学年ごとに、生徒の発達的特質に応じたテーマを設け、該当項目には複数教材を用意している。テーマは、1年「みんなと生きる」、2年「社会に生きる」、3年「世界で生きる」としている。 <b>【いじめ防止に関すること】</b> いじめを直接的なテーマとして扱っている教材と様々な面から他者と共によりよく生きることを考えるような間接的に扱っている教材とがある。特設ページにもいじめ問題に関連した題材を扱ったものがある。 <b>【現代的な課題に関すること】</b> 情報モラル、食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉教育、法教育、伝統文化、国際理解教育、社会参画、キャリア教育、生命倫理、持続可能な発展を掲載している。 <b>【言語活動に関すること】</b> 「深めよう」では、ペアや小グループでの話し合いや役割演技を取り入れた話し合いなどを扱ったりしている。「深めよう」「クローズアップ」では、自分の考えを書く欄がある。 <b>【家庭や地域との連携に関すること】</b> 家庭生活や地域社会に関わりのある教材を取り入れている。 <b>【かわさき教育プランに関連すること】</b> 編修の基本方針である「未来志向」では、「未来に目標を定め、夢や希望をもって、力強く歩み出す」と示されており、かわさき教育プランの基本理念につながる場所がある。	<b>【学習の進め方に関すること】</b> 各学年の巻頭で、「考えを深める四つのポイント」を示し、道徳の授業への向き合い方を提示している。 <b>【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】</b> 「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとしている。自らの命および自らの命に関わる他者の命、それらを支える様々な命の尊さについて、思いを寄せることができるようにしている。 <b>【教材の分量に関すること】</b> 35の教材があり、加えて特設ページの「深めよう」「クローズアップ」が26ある。 <b>【各教科等との関連に関すること】</b> 巻末には、他の教科等の学習との関連を示している。 <b>【記入や記録に関すること】</b> 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページがある。記入欄を設けている教材もある。「深めよう」「クローズアップ」では、自分の考えを書く欄があるものもある。 <b>【判型に関すること】</b> A4判で、視覚的に捉えやすくゆったりとした紙面構成にしている。	<b>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</b> 中学校で学習する漢字や固有名詞に振り仮名を付けている。書体は、ユニバーサルフォントを使用している。 <b>【挿絵や写真に関すること】</b> 図表や挿絵、写真の配置は、視覚的に捉えやすいよう、本文との関係性に配慮している。 <b>【内容項目や主題の示し方】</b> 内容項目や主題名は、教材の本文より前に表示していない。道徳の内容の視点を色で分け、教材番号の下に示している。 <b>【読みやすさ】</b> 本文の記述に当たってはできるだけ平易に、理解しやすく表現している。読みやすさを考えた改行など、生徒の読解に支障をきたさないように配慮している。 <b>【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】</b> カラーユニバーサルデザインに対応している。 <b>【マークやキャラクターに関すること】</b> 情報モラルのマークと書き込み欄のマークがある。 <b>【神奈川県に関連すること】</b> 2年の教材「ヨコスカネイビーパーカー」では横須賀市を活性化させる高校生の提案がその内容となっている。 2年のクローズアップで、川崎市にある読売ジャイアンツの寮が紹介されている。2年のクローズアップで、魚付き保安林として真鶴町が写真で紹介されている。



発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
232 廣あかつき	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を考える2 中学生の道徳ノート 自分を考える2 中学生の道徳 自分をおぼす3 中学生の道徳ノート 自分をおぼす3	各学年段階において、相当する教材や各内容項に関わる学習のページを漏れなく取りあげている。 様々な教材を通して、道徳性を構成する諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度をバランスよく養うことができるように配慮している。	【考え、議論する道徳に関すること】 各教材の最後にある「考える・話し合う」には、めあてと発問が示されている。また、「考えを広げる・深める」には、教材や内容項目と関連して、生徒が学習を広げたり深めたりできる内容を、様々な視点から掲載している。別冊の道徳ノートには、すべての内容項目について発達の段階に応じた言葉で解説されている。 【発達の段階に関すること】 各学校において指導内容の重点化を図ることができるよう、本冊における各学年の掲載教材のバランス等を考慮しつつ、重点と関連の深い内容項目に該当する教材を多く取りあげている。 【いじめ防止に関すること】 いじめ防止と関わりの深い内容項目「公正、公平、社会正義」で扱う教材に加え、「友情、信頼」「思いやり、感謝」など、様々な道徳的価値の理解を通して考えることで、いじめの防止につながるような教材がある。 【現代的な課題に関すること】 情報モラル、社会参画、自然、伝統と文化、防災教育、福祉に関する教育、法教育、国際理解教育、キャリア教育、持続可能な発展、食育、健康教育、消費者教育、生命倫理が掲載されている。 【言語活動に関すること】 本冊では話し合いを促す「考える・話し合う」があり、別冊ノートでは書くこと、読み返すことを通して考えられるようにしている。 【家庭や地域との連携に関すること】 別冊の道徳ノートでは、家族との交流を促す記述欄や地域の人や身近な人たちに聞いたことなどを書き込むページが設けられている。 【かわさき教育プランに関連すること】 編修の基本方針に、ともに考え、話し合う協働的な学習が示されており、このことはかわさき教育プランの基本目標の「共生・協働」につながる。	【学習の進め方に関すること】 巻頭にある「自分を見つめよう」では、道徳の時間の考え方、話し合いからの学びの深まり、自己の考えを深めることの大切さなどを説明している。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」の4項目を重点とし、それぞれについて全学年、3教材ずつ配置している。 【教材の分量に関すること】 各学年とも年間の授業時数に対応した35本の教材がある。 【各教科等との関連に関すること】 別冊には、様々な教育活動と連携を図りながら活用できるページがある。 【記入や記録に関すること】 別冊の道徳ノートが用意されており、内容項目に合わせた記録を付けることができるようになっている。生徒が今の自分のことをと記入することができる「フェイスシート」がある。「話し合い活動の記録」「学習の記録」「心に残っている授業の記録」の欄がある。学習の振り返りができる自己評価シートが巻末の折込みにある。 【判型に関すること】 本冊、別冊ともにAB判を採用し、紙面にゆとりをもたせ、圧迫感のない構成にしている。	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 学年段階を考慮して、1年は本文文字サイズを大きくしている。未習の漢字には、初出のみならず、すべてに振り仮名を配している。固有名詞は教材初出のみに振り仮名を付している。 【挿絵や写真に関すること】 白を基調とした紙面にイラストを配置し、ワイド判のよさを生かしている。別冊の道徳ノートは生徒の学習意欲を喚起する写真などを掲載している。 【内容項目や主題の示し方】 教材の冒頭に、道徳の内容の視点を色と玉の数で示している。 【読みやすさ】 学習上説明を要する文言や固有名詞などに、必要に応じて脚注を付している。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 カラーユニバーサルデザインに関しては、専門の第三者機関の検証を経て、UCD認証マークの取得を予定している。 【マークやキャラクターに関すること】 内容項目を色と玉の数で示している。 【神奈川県に関連すること】 該当教材なし。
233 日科	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する	学習指導要領に即した内容構成になっており、答えが1つではない道徳的な課題を「考え、議論する」授業ができる工夫をしている。 学習指導要領の内容項目順に教材を配置しており、すべての内容項目を取りあげている。	【考え、議論する道徳に関すること】 教材の最後に「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」があり、発問が2～3個掲載されている。教材によっては、最後の部分を示さないことで、生徒に考えさせるようにしている。 【発達の段階に関すること】 学年間のつながりを重視した教材を採用している。価値の多様性をしっかりと受け入れる寛容な心を育む項目は、1年「2つの足跡」から、2年「あなたが見えているもの」、3年「礼儀はなぜ必要なのか」などワーク方式を取り入れ、思考と議論を年単位で積み重ねられるようにしている。 【いじめ防止に関すること】 直接的ないじめに関する内容の教材に加えて、「いじめを許さない心」の根底には、生命を尊ぶ態度が不可欠と捉え、生命尊重の教材を用意している。 【現代的な課題に関すること】 情報モラル、環境問題、食育、福祉、法教育、社会参画、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育、持続可能な発展、生命尊重を掲載している。 【言語活動に関すること】 教科書の中にワークシート形式の教材があり、書く活動と共に、話す活動を行うようにしている。 【家庭や地域との連携に関すること】 地域や家族とのかかわりに関する教材でつながりをもたせようとしている。身近な教材では、家庭や地域と連携しやすい。 【かわさき教育プランに関連すること】 編修の基本方針には、「道徳的価値の理解を基に生み出される価値観の多様性」がある。これは、かわさき教育プランの基本目標の「共生・協働」にある「個人や社会の多様性を尊重すること」につながる。	【学習の進め方に関すること】 巻頭の「道徳科って何を学ぶの」では、道徳の1時間の授業の流れを図式化して示している。教科書の使い方を示しているページもある。 【内容項目に関すること(指導の重点化を含む)】 3学年共通して複数の教材を取りあげている内容項目は、「友情、信頼」「遵法精神、公德心」「公正、公平、社会正義」「社会参画、公共の精神」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」である。 【教材の分量に関すること】 37の教材とコラム等で構成されている。教材が37あるので、教材を選びながら年間計画を立てることができる。 【各教科等との関連に関すること】 科学技術の向上や環境問題・世界と日本の繋がりなど、他教科とのかかわりを感じられる教材を取りあげている。 【記入や記録に関すること】 教科書の巻頭には今の自分を見つめるためのメモ、巻末には内容項目についての自己評価や道徳の時間の振り返りを記入するページがある。 ワークシート形式の教材がある。 【判型に関すること】 B5判	【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】 教材ごとに、一度読み仮名を振った漢字に対しては2度目以降は振らないようにしている。 【挿絵や写真に関すること】 1ページすべてが、挿絵や写真を掲載している教材がある。写真や図を使って考える教材がある。 【内容項目や主題の示し方】 内容項目や主題名は、教材の本文より前に表示していない。道徳の内容の視点を色で分けて示している。 【読みやすさ】 同じ書式で構成され、本文と注釈の間にはラインがあり、読みやすくしている。 【ユニバーサルデザイン・特別支援教育に関すること】 巻末等にユニバーサルデザイン等については示されていない。 【マークやキャラクターに関すること】 話し合いの問いに関してはすべて共通のマークが入っている。 道徳の内容の視点ごとに色分けをしている。 【神奈川県に関連すること】 該当教材なし。

# 調査研究報告書 ⑤

## 道徳

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい道徳1 新しい道徳2 新しい道徳3	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材だけではなく、マンガや絵本など視覚に訴える教材を多く扱い、生徒の興味、関心をひくように構成されている。</li> <li>・テーマがわかりやすい教材が多く、誰もがスムーズに学習に入っていくことが期待できる内容となっている。</li> <li>・最近の著名人や新聞、時事問題などを取り入れ、生徒の興味、関心をひく工夫がなされている。</li> <li>・2時間扱いの教材がある。</li> <li>・内容がねらいごとに分かれており、計画的に授業を進めやすい。</li> </ul> <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルや防災教育に対応した教材がある。</li> <li>・いじめ、生命を重点にしている。</li> <li>・いじめ問題、食育、情報モラル、オリンピック・パラリンピックについての内容など、題材を身近に感じやすい。</li> <li>・巻末にはテーマごとの振り返り表があり、キャリア教育や人権教育との関連も把握しやすい。</li> </ul> <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションのページがあり、授業の進め方がわかりやすい。</li> <li>・「つぶやき」という記入欄があり、議論に活用できる。</li> <li>・心情円があったり、ホワイトボード用のペンで書き込めるページがあったりして、意見交流しやすい。</li> <li>・「Action」という役割演技を通して学ぶ教材がある。</li> <li>・「考えてみよう」と、考えるべきポイントの明記がある。</li> <li>・「振り返りシート」が巻末についている。</li> </ul> <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科等とのつながりが明記されている。</li> </ul>	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年30の題材と5つの付録で構成されており、工夫して活用しやすくなっている。</li> <li>・導入で主題に関する投げかけがされており、生徒が問題を見つけたり把握したりしやすい。</li> <li>・視覚に訴える構成である。</li> <li>・問題解決的な学習の流れが提示されており、授業が進めやすい。</li> <li>・構成が単調である。</li> <li>・3年間同じ構成で系統立てられている。</li> <li>・タイトルの前に内容項目が書かれている。</li> <li>・付録がたくさんある。</li> <li>・ロールプレイやワークシートに考えを書き込むスペースの工夫などがされている。</li> <li>・35時間分の教材が設定され、教材と教材の間には資料等があるわけではないので、すっきりしている。</li> </ul> <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの読み物の分量は多い。</li> <li>・分量は良いと思う。</li> </ul> <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいらしいデザインで、生徒は手に取りやすい。</li> <li>・色使いが優しい。</li> <li>・AB判でサイズが大きい。</li> <li>・直接書き込むスペースもあり、扱いやすい。</li> </ul>	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次が分類されていて見やすい。</li> <li>・視点、内容項目が見やすく表記されている。</li> <li>・題名の下に、漫画の一コマなどが表記されており、見やすい。</li> <li>・導入で主題に関する投げかけがされており、生徒が問題を見つけたり、把握したりしやすい。</li> <li>・読み物が2段組になっている箇所がある。</li> <li>・発問が書いてある。</li> </ul> <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・字は小さめだが読みやすい。</li> <li>・シンプルな表現で見やすい表記である。</li> <li>・本文書体がユニバーサルデザイン書体を使用して視認性が高い。</li> <li>・字体が丸い。</li> </ul> <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大判の写真があり、視覚的な理解がしやすい。</li> <li>・生徒にとって見やすいイラストが多い。</li> <li>・優しい色合いが多い。</li> <li>・写真の明るさが暗い。</li> <li>・挿絵が多い。</li> <li>・挿絵の割合がちょうどよく読みやすい。</li> </ul> <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点マークがあり、わかりやすい。</li> </ul>
11 学図	輝け 未来 中学校道徳 1年 輝け 未来 中学校道徳 2年 輝け 未来 中学校道徳 3年	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材が多く、これまでの教材も使われており馴染みやすい。</li> <li>・学校・家庭・地域との連携が図れる題材を扱っている。</li> <li>・身近なテーマの題材が多くわかりやすい。</li> <li>・道徳の内容の4つのつながりが、調和的な学びになっている。</li> <li>・社会的事象が多く、話題性に富む。</li> <li>・昔の出来事を描いた作品から、現代の身近な話題、日本だけでなく世界にも目を向けた教材が充実している。</li> </ul> <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「命」「人・社会」「世界・文化」「自然環境」と独自の視点で教材が選ばれている。</li> <li>・いじめ問題など、現代のニーズに合った題材がある。</li> </ul> <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」「見つめよう」など、生徒の学習の進め方がわかりやすい。</li> <li>・発問が設定されている。</li> <li>・「考え、議論する」ことを目指せるようになっている。</li> <li>・「学びの記録」を振り返りで活用でき、評価の際にも役立てられる。</li> <li>・授業の基盤となる「学級づくり」「道徳の授業を始めよう」は、わかりやすい。</li> <li>・「学びに向かうために」がわかりやすい。</li> <li>・学びの記録が使いやすい。</li> </ul> <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容によって他教科等との関連性はみられる。</li> <li>・保護者向けの解説、家庭教育と連携がある。</li> <li>・家庭教育と連携することはとても重要である。</li> </ul>	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点や主題が明記され、わかりやすい。</li> <li>・生徒が記述できる場所があり、構成がしっかりしている。</li> <li>・巻末の振り返りは活用しやすそう。</li> <li>・学年ごとにステップアップしていく題材があり、生徒の考えの変容を確認することができる。</li> <li>・「学びの記録」ページを設けてあり記録できる点は評価できる。</li> <li>・教材の始めに内容項目が記載されている。</li> </ul> <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分量は適当である。</li> <li>・分量が多い。</li> </ul> <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいらしいデザインで手に取りやすい。</li> <li>・B5判で扱いやすい。</li> <li>・教科書の大きさが変形で、あまり手に馴染まない。</li> <li>・分厚い。</li> </ul>	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目ごとに色分けされている。</li> <li>・題名の下に学ぶべきテーマが記載されており、わかりやすい。</li> <li>・難しい表現も注釈をつけるなど、読みやすい資料にしようとしている。</li> <li>・教材のテーマ表記がある。</li> <li>・発問が表記されている。</li> </ul> <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・字が大きくて見やすい。</li> <li>・ユニバーサルデザインの観点で配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを用いており読みやすい。</li> <li>・多様な字体である。</li> </ul> <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラスト・写真が多く理解を助けてくれる。</li> <li>・絵が大きくきれいだ。</li> <li>・全面カラー写真はインパクトがある。</li> <li>・マンガの挿絵が多い。</li> </ul> <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マークが多い。</li> <li>・「考えよう」などのマークがあり、活動が端的にわかる。</li> <li>・10のポイントマークはわかりやすい。</li> <li>・テーマの色分けやマークでページが整理されている。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学道徳1 とびだそう 未来へ 中学道徳2 とびだそう 未来へ 中学道徳3 とびだそう 未来へ	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有名人の記事などが多く載っていたり、SNSなど生徒に身近な問題が載っていたりするので、生徒は親しみやすい。</li> <li>・読みものだけではなく、生徒の心を揺さぶることができる。</li> <li>・実際の人物や世間の話題になったことを題材にしている。</li> <li>・昔からのよい教材が載せられている。昔からの教材も独自の写真が追加されている。</li> <li>・感動系の教材の内容が深い。</li> <li>・スポーツもの内容が多い。</li> <li>・都道府県別のゆかりのある著名人がある。</li> <li>・表・図のみで考えさせるものがある。</li> </ul> <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な課題、社会参画的な内容が多く評価できる。</li> <li>・いじめについて直接的・間接的にアプローチしている。</li> <li>・情報モラルなどの現代のニーズにあった教材がある。</li> </ul> <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合う道徳というよりも、教え込む道徳のような資料もある。</li> <li>・タイトルの下に問いかけが書かれている。</li> <li>・生徒に考えさせる内容が多い。</li> <li>・主体的・対話的な学びを通して豊かな人間関係を育てる内容が多い。</li> </ul> <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や体験活動との関連もあり、補充教材も充実している。</li> </ul>	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」にすでに発問が記載されていて、様々な角度から話し合いを展開できるように工夫されている。</li> <li>・道徳の学びを記録するページ、自己評価をするページがあるので、学習の振り返りに活用できる。</li> <li>・「あなただったら」という投げかけが多い。</li> <li>・導入が設けてある。</li> <li>・生徒の発達段階に応じた教材内容と配置になっている。</li> <li>・重点テーマを設け、3年間を通じた生徒の心の成長を目指す構成となっている。</li> <li>・教員の指導が多様化できるようになっている。</li> </ul> <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3ページ構成の内容が多く、50分授業で取り扱いやすい。</li> <li>・資料は見やすく、分量も適切である。</li> <li>・B5判で分量は適切である。</li> <li>・35時間分の教材が設定され、教材と教材の間に資料があるわけではないのですっきりしている。</li> </ul> <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦が長いので、厚みは薄い。</li> <li>・再生紙、植物インキ使用も良い。</li> <li>・内容に合わせてレイアウトが大きく変わり、挿絵も変化する。</li> </ul>	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次は項目分けされていてシンプルでわかりやすい。</li> <li>・必要な部分に振り仮名が降られている。</li> <li>・注釈が少ない。</li> <li>・2段表記がある。</li> <li>・それぞれの学年の巻末に1年先の自分を見越した資料がある。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の対応がされている。</li> <li>・改行位置が工夫されている。</li> </ul> <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の教材は、本文の文字を大きくするなど配慮がされている。</li> <li>・文字の大きさ、文章の間隔が適切で見やすい。</li> <li>・行間が広く読みやすい。余白が多く、ゆとりのある表記である。</li> <li>・フォントは他社と比べて小さい。</li> </ul> <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真、データが大きくふんだんに使われている。</li> <li>・写真やイラストの色が濃い。</li> </ul> <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や項目についての色分けもシンプルでわかりやすくて良い。</li> </ul>
38 光村	中学校道徳1 きみが いちばん ひかるとき 中学校道徳2 きみが いちばん ひかるとき 中学校道徳3 きみが いちばん ひかるとき	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した内容になっているので、発達の段階における評価に役立つ。</li> <li>・最近の著名人や漫画、新聞などを取り入れ、生徒の興味や関心をひく工夫がなされている。</li> <li>・馴染みのある名作も掲載されており、指導がしやすい。</li> <li>・考えさせられるページが各学年に配置され、つながりがある。</li> <li>・自分から社会に向けて少しずつ目が向くように配列している。</li> <li>・東日本大震災やノンフィクションの教材は読んでいて心に訴えるものがある。</li> </ul> <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命についての教材があり、1時間ごとの授業のつながりを意識できる内容になっている。</li> <li>・「いじめといじりの違い」というページがあり、今の中学生にぴたりと合う。</li> <li>・情報モラルという点で、身近に感じ考えやすい内容になっている。</li> </ul> <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの教材に「学びのテーマ」「考える視点」「見方を変えて」「つなげよう」のページがあり、何を学ぶのか、どのように学ぶのかが示されている。</li> <li>・ステップに分かれていて、学習計画を立てやすい。</li> </ul> <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生の教科書にはマナー講座が載っており、職場体験等のクロスカリキュラムに生かすことができる。</li> <li>・とびらの語りかけのページが導入に役立ち、他教科との関わりもある。様々な教科にまたがるコラムがあり、理解を深めやすい。</li> </ul>	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーズンに分かれ、1年間でどのように学ぶかが明確である。</li> <li>・「学びの記録」を設けることで、振り返りができる構成となっている。</li> <li>・しっかりと読ませる教材や、漫画や絵を用いたもの、迫力のある写真を用いたものなど、充実した構成になっている。</li> <li>・情報量が多い。</li> <li>・年間指導計画通りになっているのでわかりやすい。</li> <li>・テーマ別教材一覧が見やすい。</li> <li>・教材のユニット化が良い。構成がシンプルでわかりやすい。</li> <li>・シーズンごとの振り返りもあり、定期的に道徳の時間に何が学べたかを自覚する機会を設けることができるのは効果的である。</li> <li>・生徒自身のことを記入させたり、新聞記事が載っているなど、テーマを発展させることができる構成になっている。</li> </ul> <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の出刊社より分量は少ない。</li> <li>・字数が多く、全体的に分量が多い。</li> <li>・資料やコラムが多い。</li> <li>・一つ一つの作品の長さが比較的均等になっている。</li> <li>・読み物教材の文章が長いものが多い。</li> <li>・50分授業において適正な分量である。</li> </ul> <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさがちょうど良い。表紙が明るくひきつけられやすい。</li> <li>・表紙や絵の色彩が鮮やかで見やすい。</li> <li>・色合いがよく、紙質が柔らかい。</li> <li>・シンプルな装丁で内容に専念しやすい。</li> <li>・可愛いデザインで手に取りやすい。</li> </ul>	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いに活用するホワイトボード用紙が付いている。</li> <li>・目次が分類されていて見やすい。</li> <li>・コラム、付録等でも考えることが楽しめる表記になっている。</li> <li>・内容項目が教材の最初に書かれている。</li> <li>・1ページに二段で書かれている箇所がある。</li> </ul> <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が小さい。</li> <li>・一つの教材の中でもフォントを変えたり、枠で囲ったり、また、図示化している部分もあり、読みやすくなっている。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用して視認性が高い。常用漢字の全てに振り仮名がついており、読みやすさへの配慮が見られる。</li> <li>・柔らかい表現が多く、中学生には親しみやすい。ゆとりのある行間、余白で、見やすい。</li> <li>・字体が丸い。</li> <li>・学年の配当漢字にとらわれない振り仮名の多さは評価できる。</li> </ul> <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やイラストが美しく、見やすい。横に広いサイズ感で、見やすい。</li> <li>・挿絵が生徒にとって興味を持ちやすい。</li> <li>・視覚に訴える資料が多い。</li> <li>・写真やイラストが多い。</li> </ul> <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点マークがあり、分かりやすい。</li> </ul>



発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日 文	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3道徳ノート	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画などにも触れ、生徒が身近に感じるようなテーマが選ばれている。</li> <li>・山中伸弥氏、吉田沙保里氏など、現在活躍している著名な人がとりあげられている。</li> <li>・参考資料が充実している。</li> <li>・似たテーマを扱っている教材でも、そのテーマにストレートに触れているものと間接的にアプローチしているものがあるので、意図的に教材を選ぶことができる。</li> </ul> <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルは大切なことなので振り返ることができる。</li> <li>・いじめや安全等を重視した題材が多い。</li> <li>・教材とコラムを組み合わせることで、いじめに対する意識や、人を攻撃してしまうことについて考えることができる。</li> </ul> <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動が例として載っている。「参考」では、さらに関連する様々な資料を載せることで、多面的に考え、理解につなげることができる。</li> <li>・アクティブラーニング、問題解決的、体験的な学習を意識した内容設定が行われている。</li> <li>・一つの題材でいくつかのテーマを扱えるようになっているので学校の実態に応じてテーマ設定ができる。</li> <li>・主人公が誰なのかわかりやすい。</li> <li>・学習の進め方がわかりやすく提示されている。</li> </ul> <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の中学校で行われている活動の紹介があり、特別活動の視点からも参考にできそうである。</li> <li>・凶判等が多いため他の領域との関連が分かる。</li> </ul>	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の冒頭に主題名が明記されていて、主な登場人物もわかりやすく示されているので、内容の確認がしやすい。</li> <li>・別冊のノートは友達の見解を記入する欄があるなど、配慮されている。</li> <li>・1年間を通しての学びができるよう、教材が配置されている。</li> <li>・現代的・社会的課題への対応がされている。</li> <li>・別冊のノートがある。</li> <li>・教材の間に「参考」や「学習の進め方」が入っている。</li> <li>・別冊のノートは振り返りも、毎回グラフによって行うことができ、生徒が記入しやすいように作られている。</li> <li>・別冊ノートには発問など表記されている。</li> </ul> <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトにまとめられているものがほとんどで、50分授業で扱いやすい。</li> <li>・教材とコラムが1時間の授業のなかで適切に使える。</li> <li>・一つの読み物の量が多い。</li> </ul> <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真、イラスト、サイズ感はよい。</li> <li>・表紙が現代風で、生徒をひきつけやすい。</li> <li>・もう少しシンプルでもよい気がする。</li> <li>・別冊のノートがあり、その時間の内容になっている。</li> </ul>	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に難しい表記もなく、スムーズに読み進めることができる。</li> <li>・プラットフォーム、参考の資料が魅力的である。</li> <li>・各学年の系統性への配慮がされている。</li> <li>・文章表現は丁寧で、読みやすく、適正である。</li> <li>・教材ごとに「考えてみよう」「自分に+ワン(プラスワン)」が入っていてちょっと立ち止まって考えるのに適切である。</li> </ul> <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさがちょうど良い。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントなど、レイアウトに工夫がみられる。</li> <li>・余白が少ない。</li> <li>・文字サイズが小さく行間が狭い。</li> </ul> <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや図が多く、生徒が道徳に親しめるような教科書である。</li> <li>・写真が多く、生徒が興味深く感じる。</li> <li>・色がたくさん使われている。</li> </ul> <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マークが多い。</li> </ul>
224 学 研	中学生の道徳 明日への扉 1年 中学生の道徳 明日への扉 2年 中学生の道徳 明日への扉 3年	<p>【教材に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、自ら考え、よりよく生きる力を育む内容になっている。</li> <li>・多様なテーマがあり、生徒達が興味を持ちそうなものが多い。</li> <li>・ドキュメント、エッセイ、人物伝記などバランスがとられている。</li> <li>・適しているものが多い。</li> <li>・スポーツや漫画の取り扱いは生徒にとって親しみやすい。</li> <li>・「忘れられないごちそう」「あるレジ打ちの女性」が入っている。</li> <li>・各教材に関連性や連続性がある。</li> <li>・読み物教材が中心である。</li> </ul> <p>【現代的課題に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの話題がとりあげられている。</li> <li>・いじめ防止対策推進法の観点も取り入れ、命の尊さを大切にしたい内容になっている。</li> </ul> <p>【授業の進め方に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページが活用しやすそうである。</li> <li>・道徳での学びについて記載されていて工夫されている。</li> <li>・主題名を本文の前に記載されていないので、「問い」が大切にされている。</li> <li>・冒頭で道徳での学びについて記載されている。</li> <li>・評価のサイクルが示されている。</li> </ul> <p>【各教科等との関連に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材に関連性や連続性がある。</li> <li>・「各教科との関連性」が示されてわかりやすい。</li> </ul>	<p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいの表記がないので生徒に想像させやすい。生徒の問題意識を大切にしている。</li> <li>・年間指導計画を意識した構成になっている。</li> <li>・ユニット教材ということもあり、1つのテーマに複数の教材がある。使い方によってはとても有効である。</li> <li>・目次のほかに内容ごとに教材が載っていた。また、テーマ別に載っているのは親切である。</li> <li>・主題名を示していない。</li> <li>・教材の最後に疑問を投げかけるようになっている。</li> <li>・発問が少ない。</li> </ul> <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうど良い。</li> <li>・一つ一つの読み物が短い。</li> <li>・一つの読み物の量が多い。</li> </ul> <p>【装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい行間にゆとりがあって見やすい。余白が多く見やすい。余白に書き込むこともできる。</li> <li>・写真が見やすい。</li> <li>・大判のわりに軽い。</li> <li>・大きい。</li> </ul>	<p>【表示に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問の表記が少ないので教師が授業を組み立てやすい。</li> <li>・注釈がわかりやすい。</li> <li>・主題名の提示の工夫があり、多様な価値観を生み出せる。</li> <li>・4つの視点で色分けされていて視覚的に授業のねらいがわかるように工夫されている。</li> <li>・見開き1ページの教材も多くわかりやすい。</li> <li>・「考えを深める4つのポイント」がわかりやすい。</li> <li>・考えるポイントの表記が少ない。</li> </ul> <p>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすいフォントを採用している。</li> <li>・改行やルビが多い。</li> <li>・文字サイズが工夫されていて非常に見やすい。</li> <li>・文字が大きく見やすい。</li> <li>・字が詰まって見える。</li> </ul> <p>【挿絵や写真に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵・写真が効果的である。</li> <li>・イラストが現代風で、親しみやすい。</li> <li>・マンガ風のイラストが多い。</li> <li>・ページのいろいろな場所に、図、イラストがある。</li> <li>・写真・文字も多くしてもよい。</li> </ul> <p>【マークやキャラクターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい表記や言葉遣いで分かりやすい。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
232 廣あかつき	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を考える2 中学生の道徳ノート 自分を考える2 中学生の道徳 自分をのばす3 中学生の道徳ノート 自分をのばす3	<b>【教材に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>先人や著名人の言葉、図やグラフ、アンケート結果などが記載されていて活用できる。</li> <li>共に考え、話し合うことと、自分を見つめ考え伸ばすことの2つのテーマから、豊かな自己の形成を目指した内容となっている。</li> <li>内容が濃い。</li> <li>3年間の見直しをもって学習ができる内容である。</li> <li>書名を学年ごとに変えることで、生徒が目指す姿を意識しやすい。</li> <li>幅広い内容が載せられ、分野ごとにまとめて配列されている。</li> <li>生徒に身近な話題である。</li> <li>重点項目を意識し、複数回扱うことができるよう内容を工夫している。</li> </ul> <b>【現代的課題に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSなど生徒たちに身近な話題がみられる。</li> <li>生命尊重に力点が置かれている。</li> </ul> <b>【授業の進め方に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の手がかり」という設定がある。</li> <li>多面的、多角的な発問が設定されている。</li> <li>生徒の考えが深められるようになっている。</li> <li>教師も生徒も学びやすい。</li> <li>「考える・話し合う」という設定がある。</li> <li>生徒に伝えるポイントが明らかである。</li> <li>主体的、対話的に学習を進められる。</li> </ul> <b>【各教科等との関連に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連付けられている資料もある。</li> </ul>	<b>【構成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間35時間の道徳の授業なかで35時間分の教材がカテゴリ別に掲載されている。</li> <li>別冊のノートは学習の記録として残しておく。</li> <li>別冊ノートは、「心のノート」「私たちの道徳」と同じように扱える。</li> <li>別冊のノートは評価に役立つ。</li> <li>別冊ノートは、自己の心の成長を実感したり課題を見つけたりできる。</li> <li>発問が載っている。</li> <li>別冊のノートは毎回の教材と対応していない。</li> <li>先人や著名人の言葉が記載されていて活用できる。</li> <li>内容項目とその項目に対するチェックのページがある。</li> </ul> <b>【分量】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>週に1回、年間35時間の道徳の授業なかで35時間分の教材がカテゴリ別に掲載されている。</li> <li>読み物の分量が多い。</li> <li>別冊のノートの分量が多い。</li> </ul> <b>【装丁】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用していて、教科書の横幅が充分に取られている。</li> <li>教科書の横幅が充分である。</li> </ul>	<b>【表示に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンプルで使いやすい。</li> <li>名言が書かれているのは、中学生にとってプラスである。</li> <li>題材のなかに、アンケート結果などが数値でわかりやすく記されていて理解しやすい。</li> <li>「学習の手がかり」が最後に示されていて、話し合いの道筋が生徒にとってわかりやすい。</li> <li>考えを広める 深めるというものが明記されている。</li> <li>ページの下部に注釈があるので、生徒が言葉の意味をとらえやすいと感じた。</li> <li>書名を学年ごとに変えることで、生徒が目指す姿を意識しやすい。</li> </ul> <b>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>難しい言葉に丁寧な語句解説が付いている。また振り仮名も充実しており、読みやすい。</li> <li>文字が大きくて見やすい。</li> <li>行間がとってあり、読みやすい。</li> <li>ページ初出だけでなく、全てに振り仮名が振られている。</li> </ul> <b>【挿絵や写真に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストは、必要なものをうまく配置している。</li> </ul> <b>【マークやキャラクターに関すること】</b>
233 日科	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を想像する	<b>【教材に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2時間ものの資料があり、工夫しているが見られる。</li> <li>身近な事例から登場人物の悩みや葛藤について共有し、自分のことを捉え、考え、話し合うことができる内容である。</li> <li>出会い、ふれあい、みがき合う道徳教科書のコンセプトで内容が配されている。</li> <li>「生き方から学ぶ」というタイトルの通り、郷土、偉人の伝記、新聞の投書などもあり、身近な事例として考えやすい。</li> <li>読み物教材を中心に、様々な分野の内容を取り扱っている。1年生～3年生へと、学年間につながりのある教材が組まれている。</li> <li>文字が一切書かれていない教材では、ストーリーをイメージしながら組み立て、その内容について話し合うという発想がおもしろい。</li> </ul> <b>【現代的課題に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>先人から学ぶ教材が興味深い内容が多かった。</li> <li>SNSなど、現代社会の抱える問題が題材としてある。</li> </ul> <b>【授業の進め方に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年ごとの目指す姿が教科書のタイトルになっており、つながりがあって成長が楽しみになる雰囲気がある。</li> </ul> <b>【各教科等との関連に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年間につながりをもたせた教材や他教科とのつながりを考慮した教材が充実している。</li> <li>他教科等とのつながりも感じられる表現になっている。</li> </ul>	<b>【構成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成がA・B・C・Dに分かれていてわかりやすい。</li> <li>読み物以外に多くの教材が含まれていて、様々な状況に合わせて使える。</li> <li>多面的、多角的に捉え、人間としての生き方について見方や考え方が広がるよう、工夫されている。</li> <li>目次の教材の並びは、内容項目の順に表記されている。</li> <li>最終ページに「振り返り」がある。</li> <li>読み応えのある分量である。構成もテーマごとにしっかりあり、飽きずに取り組める。</li> <li>読み物資料の番号は、内容項目の番号と一致している。</li> </ul> <b>【分量】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容がやや少なめである。</li> <li>B5判で分量が多い。</li> <li>内容項目にあわせて教材が並んでいて、取り組みやすい。</li> <li>ちょうどよい分量と読みやすい構成である。</li> </ul> <b>【装丁】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真が多用されている。</li> <li>表紙からインパクトがある。</li> <li>美しい写真の表紙である。</li> <li>紙質もちょうどよく、カラー写真はやや少ないが掲載されている写真は見やすい。</li> </ul>	<b>【表示に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「考え、話し合ってみよう」の生徒への投げかけかたは、ポイントが絞られており、分かりやすい。</li> <li>教材の題名の他に内容項目やサブタイトルなど余分なものがない。</li> <li>脚注が分かりやすい。</li> <li>発問が明記されている。</li> <li>固い表現が少し多い。</li> <li>スマートフォンなど情報モラルのページには画面やふきだしなどがそのまま使われていて工夫が見られた。</li> </ul> <b>【文字に関すること(大きさ、字間、行間、書体、漢字、仮名遣い等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>字体は小さいが見やすい。</li> <li>文字が小さく、生徒にとって見づらいのではないかな。</li> </ul> <b>【挿絵や写真に関すること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページ全て写真ページがある。</li> <li>写真が多く使われている。</li> <li>写真の上に文字が書かれているページがある。</li> <li>挿絵の位置など工夫があり、教科書全体を通して、生徒が飽きない紙面づくりが行われている。</li> <li>写真はきれいで、見やすく、挿絵も生徒が好みそうな絵柄。</li> </ul> <b>【マークやキャラクターに関すること】</b>